

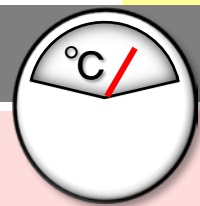
マルハナバチが長く働けるように

マルハナバチを適切に管理しましょう！



マルハナバチは生き物です。適切な管理によって巣箱を長く使うこともできます。
マルハナバチに適した管理と、働きやすい環境作りをお願いします。

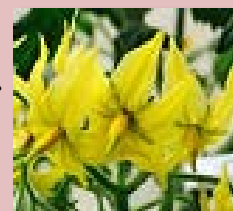
1. マルハナバチが働きやすいハウス内の環境づくり



- ハチには活動適温があります。30℃以上の高温にさらされると、巣の消耗に繋がります。
- 直射日光などによる大きな温度変化を避け、巣箱の置場に注意し、日よけや保温機を活用しましょう。

2. マルハナバチの適切な管理

- 長命化にはエサ（花粉・蜜）が必要です。花の状態が悪く、花粉が十分でない場合や、トマトなど蜜のない花での利用では、適切な給餌を行いましょ。
- トマトやナスの利用では雄しべの噛み跡（バイトマーク）などで訪花活動を確認し、更新時期を判断してください。
- ローテーション利用などの巣箱の移動を伴った利用の場合には、巣箱の置き場所にえさ場を設置するなど、消耗しない工夫をしましょう。



3. 農薬の取扱い

- ラベルをよく読み、ハチへの影響の有無と使用方法を必ず確認しましょう。
- 散布前にハチを回収し、巣箱の出入口を閉め、ハウス外で保管しましょう。
- 薬剤の残効は天候や気温によって変化します。ハチへの影響日数を確認の上、影響日数経過後も状況に応じてあせらず余裕を持ってハウス内に巣箱を戻しましょう。
- 水たまりに農薬が残っている場合があります。マルチやシートに水たまりを残さない、水たまりが残ったまま巣箱を戻さないよう注意しましょう。



4. 必要に応じて代替手段を利用

- マルハナバチの使用が難しい場合、登録のある作物では植物ホルモン剤など、人工授粉手段の併用や代替利用も検討しましょう。

マルハナバチの管理方法の詳細については、取り扱いJA、販売店やメーカーに確認し、指示に従って下さい。

令和2年4月 農林水産省 園芸作物課
TEL : 03 - 3593 - 6496